

平成28年度 自己評価書

学校名	和歌山市立東山東小学校
校長氏名	柑本 康生
作成日	平成29年2月24日

1 教育目標

生きる力をはぐくみ、心身ともに健やかで、明日の社会を築く豊かな創造性と実践力を持つ子どもの育成。

2 本年度の取組についての評価

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標【P】	○他者とのふれあいの機会を増やし、それを通して子ども達が視野を広げ、ものごとを考えたり、判断したりする力を身に付ける。	○総合的な学習の時間・道徳・特別活動及び全ての教科を通して他者を思いやる心や物事に対して感動する豊かな心の育成と健やかな日常生活を送ることができる健康な体の育成。	○自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、問題解決をしていく子どもの育成と共に言語活動の充実を図る。

取組の状況【D】	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・学年だよりを通して、学校での取り組みを保護者・地域に公開した。 ・民生・児童委員・橘会の方々に学校にきて頂き、子ども達と交流を行った。 ・校区探検・校区のゴミ拾い等を行い、地域を知り、貢献を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「子どものための伝統楽器の鑑賞と和楽器(尺八、琴)の体験」のため、先生に来て頂き、和楽器に触れたり、また、日本藝術院会員の先生の絵画指導を受け、情操教育の深化を図った。 ・保護者対象に「人権講演会」を実施して、人権意識に対する啓発を行った。 ・放課後バスケ、陸上競技大会への参加者が増えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「和歌山の授業 基礎・基本3カ条」を全教員に徹底させ、授業の充実を図った。 ・「きのくに学力定着フォローアップ事業」の指定を受け、授業力向上のための講師先生に、今年度、10回学校にきて頂き、各先生の授業視察、及び批評をして頂いた。
(評価結果【C】)	<ul style="list-style-type: none"> ・民生・児童委員の方々を知り、交通指導の際には、挨拶をする子どもが増えた。 ・今まで、子ども達が知りえなかった事を実体験させる事で知識に少し幅を持たせる事ができた。 ・授業時数確保のため、交流の時間の設定の調整が困難である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度から取り組んでいる「フッ化物洗口」により、「良い歯の優良校」の表彰を受けた。 ・遠足等の縦割り活動では、上級生が下級生の世話が立派にできるようになった。 ・先生の熱心な指導もあり、放課後バスケへの参加者や、陸上競技大会への参加者が増加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校児童に欠けている学力が、より一層、明確になった。 ・今まで理解できていないところがあっても、質問をしない児童がいたが、質問をする児童が徐々に増えてきた。 ・毎週、「うちどく」に取り組んでいるが、その効果は今ひとつ、現れていない。
次年度に向けての改善方法【A】	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度はさらに、地域の方々や山東まちづくり会との交流を増やし、子ども達に様々な実体験をさせたい。 ・「四季の郷」のイベントにも積極的に参加させ、その催しを周知させ、さらなる交流を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「縦割り活動」や「みんな遊び」を実施して、より良い学級の雰囲気作りに努める。 ・体力作りのため、体育の授業における体力作りへの、さらなる取り組みを行う。 ・「フッ化物洗口」を継続して行い、児童の歯の健康の増進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の児童に欠けている表現力を培うため、学校の教育活動全体を通して、その能力を身に付けさせる。 ・授業に児童の「学びあい」の場をより多く設け、「アクティブ・ラーニング」を取り入れる。 ・「うちどく」の取り組みを活性化する工夫を考える。

3 その他の課題

・校舎や学校設備の老朽化のため、ドアの開閉、教室の照明の不具合が多発する。また、その都度、修繕しても、設備そのものが劣化しているため、根本的な解決になっていない。

・体育館の照明はLEDになったが、大雨が降ると、雨漏りがある。

・今後、入学者数が増加する可能性が高いため、教室の確保が困難である。

・通学路についても、狭いところや車の交通量が多い箇所もあり、民生・児童委員、育友会、学校職員等が定期的に通学路に立ち、児童の安全の確保を図っている。困難ではあると思うが、道路の拡幅や、それに伴う、歩道の設置が必要な箇所がある。